

研究テーマ「家庭学習の充実と、わかった・できたの実感を意識した授業づくりによる学力向上」

1 「家庭学習の充実」に向けた取組

○ e-ライブラリの家庭での活用促進に向けた取組

- 昨年度・「活用の手引き」を全家庭に配布
 - ・ 昼休みに「体験会」実施
 - ・ 個人面談待合場所での「紹介スライド」上映



○ 本年度 ○ 昨年の取組 + PTA総会での「紹介スライド」上映

- 「身につけよう！家庭学習」※の新入生への配布 ※昨年度の研究で作成したクリアファイル
- NEW! ○ 「めざせ！子どものやる気アップ！」リーフレット作成・全家庭配布

大学教授のコメント

昨年作成したクリアファイルと同じ内容

両校SCのコメント

めざせ！子どものやる気アップ！

中学校美術部生徒のイラスト

← 表面
→ 裏面
三つ折り

子どもがやる気アップにつながる言葉かけ

保護者からの声のまとめ

① 色々な視点から声をかけてみましょう

② 嬉しそうに褒めよう

③ がんばり続けて一緒に喜びましょう

④ 高ぶって褒めよう

その他

保護者の方々に「家庭でも学習の支援をしてください」とお願いするだけでなく、子どもがやる気を起こすような「声のかけ方」も併せてお伝えし、主体的な学習者を育てたい、との思いからリーフレットを作りました。両校の保護者から「今までの子育ての中で『子どものやる気がアップした』と感じた働きかけ」について伺い、まとめました。大学教授やスクールカウンセラーからの専門的なアドバイスも掲載しました。

2 「わかった・できたの実感を意識した授業づくり」に向けた取組

○ 教員研修

- ・ 6月 横浜国立大学 青山先生による 国語(書写)の模擬授業体験と講演 「子どもの心を動かす場面を作る授業づくり」(1月に2回目)
- ・ 8月 県教委子ども教育支援課 本間指導主事による講演 「新学習指導要領における主体的・対話的で深い学び」
- ・ 8月 星槎大学 岩澤先生による講演 「家庭環境の理解を視野に入れた自学自習の習慣作り支援」
- ・ 11月 3教科授業公開と「やる気の科学研究所」庭野様による講演 「子どものやる気を引き出す動機付け理論と指導場面での実践」



3 2年間の研究を通して感じた成果と今後の取組に向けた課題

この2年間の研究で一番の成果は、学力向上に対する職員の意識を高める機会を多く持ったことです。この期間で生徒の学力が向上したかどうかを判断することは難しいですが、研修会や小中連携での取組を通して多くのことを学びました。その学びを生かし、今後も学校全体で学力向上に関する意識をそろえて取り組んでいきたいと思えます。(陸合中)

小中両校が共通のテーマで研修や授業参観を行ったことで、9年間の学びを意識した授業づくりに近づけられたことが大きな成果です。また、家庭教育の充実に焦点をあて、保護者への啓発ができたこともこれからの学習に必ず生きると考えています。これからも中学校区で共通理解を図りながら様々な取組を進めていきます。(三田小)

《今後に向けて》 学習指導要領が改訂されたタイミングで本研究に取り組めたことは、両校にとって、児童・生徒に育みたい資質・能力や学びの接続の仕方、家庭との連携などについて従来から進めている取組を新たに見つめなおし、意味を確認する機会となりました。今後は、学習評価に関する両校教員の協議及び研修や、コミュニティ・スクールにおける取組の充実など、9年間での学びをさらに効果的に進めるための両校の取組を一層充実させることができるよう支援を進めてまいります。(教育指導課)